

サイレン

広
報

編 集
釧路北部消防事務組合
広報委員会
令和5年4月1日発行

消防本部 (015)482-3276
 弟子屈消防署 (015)482-2073
 標茶消防署 (015)485-2021
 鶴居消防署 (0154)64-2344
 川湯支署 (015)483-2216

コロナ禍による救急活動の変化

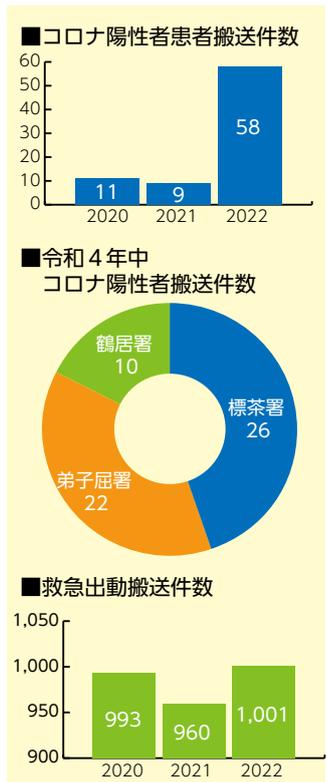
令和4年の釧路北部消防事務組合における救急出動件数は1,001件（前年960件）、搬送人員は947人（前年904人）となり、新型コロナウイルス感染症やその疑いのある方を搬送した件数は58件でした。

新型コロナウイルス感染症は、国内で最初の感染者が確認されてから令和5年1月時点で丸3年を迎えましたが、変異株の影響もあり依然として収束の目途が立っておらず、当組合管轄内でも同感染症の救急搬送は増加傾向にあります。

組合各消防署では、新型コロナウイルス感染症の救急搬送事例に対応する訓練を行っています。活動中は特殊な感染防護服を着装し、また救急車内では養生シートを使用して隊員の感染予防を行っています。搬送後は車内及び救急資器材をオゾン装置等を用いて滅菌消毒し、次回出動に備えています。

みなさまには、感染症（疑いを含む）における事例では防護服着装のため出動までに若干の時間を要する場合があること、また搬送先病院の選定や保健所等の関係機関への連絡に時間を要することについてご理解いただきますようお願いいたします。

令和5年5月8日からは感染症法の類型が季節性インフルエンザ等と同じ5類へ移行され、マスク着用やイベント開催については緩和されますが、高齢者や基礎疾患のある方は感染後の重症化リスクを伴いますので、場面に応じた感染対策を行うよう推奨いたします。



第48回釧路北部消防事務組合総合演習

令和4年5月22日、第48回釧路北部消防事務組合総合演習が鶴居村にて開催されました。

演習には、組合内3町村から職団員約170名、消防車両合計12台が集結し、観閲式や分列行進、火災防御訓練が行われました。

鶴居村ふるさと情報館「みなくる」で行われた火災防御訓練では、サイレンの吹鳴とともに消防車両が現場に出動し、消防団員が次々とホースを延ばし建物に放水を行いました。

この訓練を通じて組合内消防団の連携を深めるとともに、技術向上と士気高揚を図ることが出来ました。



弟子屈町消防団 競技大会3位



令和4年9月17日、「第66回北海道消防協会釧路地方支部消防団員技能競技大会」が釧路市消防訓練場で開催され、管内8消防団から「小型ポンプの部」に8チーム、「消防ポンプ自動車の部」に7チームが参加し、訓練の成果を競い合いました。

小型ポンプの部は惜しくも入賞とはなりませんが、消防ポンプ自動車の部では、弟子屈町消防団が3位に入賞し、素晴らしい成績を収めました。



釧路北部消防事務組合、年頭の恒例行事である消防出初式が令和5年1月4日弟子屈、5日標茶・鶴居において行われました。各出初式では観閲式、分列行進、伝統のはしご乗り・まとい振りが披露され沿道の観客を魅了しました。令和5年の無火災及び住民の安心安全を願い、消防職団員一同団結を固め更なる職務の遂行を誓いました。

令和五年

弟子屈

表彰式の様子

標茶

まとい振りの様子

鶴居

観閲式の様子

消防出初式

令和4年度 秋季演習



弟子屈

令和4年10月23日、弟子屈町消防団では秋の火災予防運動期間に、川湯消防庁舎及び川湯観光ホテルにおいて令和4年度秋季演習を実施しました。演習には藤田茂団長以下46名の団員が参加し、観閲式や分列行進、火災防御訓練が行われました。火災防御訓練では逃げ遅れが1名居る建物火災を想定し、梯子車による要救助者の救出、出火箇所への放水を行い、団員の技術の向上と士気の高揚を図ることができました。

標茶

令和4年10月15日、標茶町農業協同組合（JAしべちゃ）において標茶消防団・署秋季演習を実施しました。演習には田中純一団長以下職団員62名が参加し、観閲式、火災防御訓練を行いました。

訓練はJAしべちゃの避難訓練も併せて実施され、参加した団員は規律、節度のある動きで訓練に励んでいました。

ご協力いただいた標茶町農業協同組合のみなさま、ありがとうございました。



鶴居

令和4年9月4日、鶴居村村民広場において鶴居消防秋季演習を実施しました。当日は松井廣道団長以下36名の団員が参加し、小野寺副団長の指揮により特別点検を行い、団員は規律ある行動で点検に臨んでいました。

点検後には、釧路管内消防団員技能競技大会の「消防ポンプ自動車の部」と「小型ポンプの部」に出場する2チームによる訓練展示が行われました。



消防イベント

弟子屈消防署・標茶消防署・鶴居消防署

防火スポーツ大会

弟子屈

令和4年10月13日、川湯パークゴルフ場にて「防火パークゴルフ大会」を行いました。大会は地域住民の交流と防火、防災への意識向上を目指し毎年行われています。今年は32名の参加があり、コロナ禍ではあるものの参加者達の元気溢れるプレーが見られました。パークゴルフ終了後に行われる消火器の取扱い訓練では実際の火災を想定した消火器の取扱いが見られるなど盛況に行われました。



鶴居防火ゲートボール大会

鶴居



令和4年12月12日、「第30回鶴居防火ゲートボール大会」を開催しました。この大会は、生涯スポーツであるゲートボールを通じて、健康の増進、親睦交流を図りながら防火意識の啓発を目的に実施しています。全4チーム22名が参加し、日頃の練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げていました。加藤署長より今年で30回を迎える歴史ある本大会を継続される参加者への労いと、消火器と住宅用火災警報器の維持管理等について説明をしました。

- ・優勝……上幌呂
- ・準優勝……下幌呂
- ・3位……幌呂

火災予防運動広報 街頭広報

弟子屈

令和4年10月22日、弟子屈防火管理協議会（会長 筒井庄一）・弟子屈婦人防火クラブ（会長 柏倉征子）は秋の火災予防運動の一環として弟子屈町セブンイレブン前で街頭広報を行いました。防火管理協議会・婦人防火クラブの会員は火災の起きやすい季節を迎えることから地域住民に暖房器具の取扱いや火の始末に注意をするよう呼びかけながら広報紙と啓発グッズを配り、火災予防の一翼を担いました。



女性防火クラブの活動

標茶



標茶女性防火クラブは、一般家庭から火災を防止するため、火災予防の知識を修得し安全な地域社会を築くことを目的とした組織です。今年度もコロナ禍により活動内容を縮小し、感染防止の徹底を図りながらオンライン研修会や歳末広報等を実施し、地域住民の火災予防の意識付けとして大きく貢献しました。

女性消防部による 単身高齢者宅の防火査察

鶴居

令和4年11月5日、鶴居消防団女性消防部は単身高齢者宅の防火査察を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、鶴居市街地区の単身高齢者宅を訪問しました。女性消防団員から手作りの小物入れやポケットティッシュ、火災予防についてのチラシなどを手渡し、火災予防を呼びかけました。



消防予算の執行状況

令和3年度 決算の概要

歳入 845,009,260円

歳出 831,533,393円



令和3年度釧路北部消防事務組合の歳入歳出決算額は上記のとおりであり、主な内容は次のとおりです。

歳入 歳入予算額845,782,000円に対して決算額は845,009,260円となっており、歳入の主たる財源は、構成町村からの負担金823,913,000円で全体の97.5%を占め、繰越金が15,057,590円で1.8%、道支出金が1,980,000円で0.2%、諸収入が1,839,957円で0.2%、他は手数料・財産収入等で2,218,713円、0.3%となっています。

歳出 歳出予算額は歳入予算額と同額であり、決算額は831,533,393円で98.3%の執行率となっています。主な内容は消防署、消防団、消防施設、設備等に要した経費が664,826,335円で全体の79.9%を占め、公債費（庁舎建設等に係る起債償還等）44,261,173円で5.3%、さらに消防本部の運営に要した経費等が122,445,885円で14.8%となっており、本年執行できなかった弟子屈消防署に係る予算756,000円を繰越明許費とし、歳入歳出差引不用額12,719,867円は令和4年度予算へ繰越されました。

各項目及び構成町村別の決算内容は次の表のとおりです。

令和3年度 歳入決算費目別内訳

(単位：千円・%)

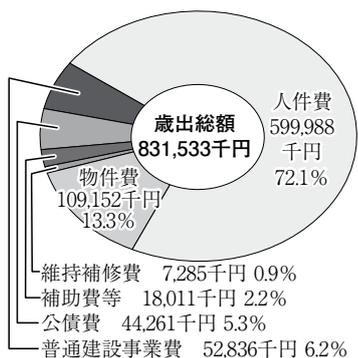
費目	区分	予算額	決算額	収入率
分担金及び負担金		823,913	823,913	100.0
内訳	弟子屈町	354,803	354,803	100.0
	標茶町	287,335	287,335	100.0
	鶴居村	181,775	181,775	100.0
	使用料及び手数料	327	388	118.7
国庫支出金		0	0	-
道支出金		1,980	1,980	100.0
財産収入		1,843	1,831	99.3
繰越金		15,058	15,058	100.0
諸収入		2,661	1,839	69.1
組合債		0	0	-
計		845,782	845,009	99.9

令和3年度 歳出決算費目別内訳

(単位：千円・%)

費目	区分	予算額	決算額	執行率
議会費		592	549	92.7
総務管理費		122,966	121,549	98.8
監査委員費		370	348	94.1
消防署費		628,875	621,118	98.8
消防団費		39,188	35,291	90.1
消防施設費		9,229	8,417	91.2
公債費		44,262	44,261	100.0
予備費		300	0	0.0
計		845,782	831,533	98.3

令和3年度 歳入決算費目別内訳



令和3年度の主な事業

(単位：千円)

事業名	事業費	施設・設備・配置場所
組合内通信指令業務共同化システム統合事業	38,014	弟子屈消防署、川湯支署、標茶消防署、鶴居消防署 消防統合型通信指令システム署所共同化事業
指令車購入事業	3,509	消防本部 普通乗用車購入
無人航空機(ドローン)運用事業	508	消防本部 無人航空機(ドローン)購入(1台)
消防団安全装備品購入事業	3,630	弟子屈町消防団 消防団員用活動服一式購入(120着)
消防用ホース購入事業	1,533	標茶消防署 消防用ホース購入(30本)
空気呼吸器用高圧容器購入事業	2,337	鶴居消防署 空気呼吸器用高圧容器購入(12本)
新型コロナ対策用品購入事業	3,305	弟子屈消防署 オゾン発生装置(3台)、感染防止物品一式購入
計	52,836	

令和4年度 新採用職員 紹介



氏名 内海 慎治
年齢 23歳
出身地 釧路市
勤務先 弟子屈消防署



氏名 阿部 蒼大
年齢 19歳
出身地 釧路町
勤務先 弟子屈消防署



氏名 中村 輝基
年齢 19歳
出身地 釧路市
勤務先 標茶消防署



氏名 金岩 鷹哉
年齢 23歳
出身地 鶴居村
勤務先 鶴居消防署

令和4年 弟子屈町・標茶町・鶴居村の火災概要

建物火災8件、車両火災4件、林野火災1件、その他火災7件!

◆令和4年中の火災発生状況と前年の対比表

令和4年1月から12月中の弟子屈町・標茶町・鶴居村管内における火災件数は前年に比べ2件減少しています。釧路北部消防事務組合火災調査規程（昭和52年8月10日訓令第3号）の改正に伴い、これまで非火災としていた小規模な火災についても「火災の定義」にあてはまる現象すべてを火災として統計することに令和3年から変更しています。



年別(令和)	区分	総出火件数 (件)	建物火災 件数 (件)	車両火災 件数 (件)	林野火災 件数 (件)	その他の 件数 (件)	焼 損 面 積 等			死傷者数(人)		り 災 世帯数 (世帯)	損害額 (千円)
							建物 (㎡)	車両 (台)	その他	死者	負傷者		
4 年 中	弟子屈町	7	4	1	0	2	637(床)	1	1(a)		1	2	9,197
	標茶町	9	3	2	0	4	1,127(床)	2	9(a)			0	28,973
	鶴居村	4	1	1	1	1	196(床)	1	36.5(a)			0	1,260
	計	20	8	4	1	7	0(表) 1,825(床)	4	46.5(a)			2	39,430
3 年 中	弟子屈町	5	3	1	0	1	2(表) 341(床)	1	73(a)			2	7,857
	標茶町	11	5	1	1	4	224(表) 703(床)	1	523(a)			1	24,213
	鶴居村	6	1	2	0	3	1,531(表) 4(床)	2	63(a)			0	5,326
	計	22	9	4	1	8	1,757(表) 1,048(床)	4	659(a)			3	37,396

令和4年中の救急出動件数は1,001件、ドクターヘリ出動38件

令和4年中における救急出場件数は1,001件で前年に比較すると41件の増加し、搬送人員は947人で前年よりも43人増えました。このことは、弟子屈町・標茶町・鶴居村管内で1日当たり約2.7件の救急事故が発生し、町村民約18人に1人が救急隊によって搬送されていることとなります。また、搬送人員を事故種別で見ると、急病542人（前年比+59人）、転院搬送243人（前年比-18人）、一般負傷130人（前年比+39人）で、この3種別が上位を占めており、その他（火災・水難・労働災害・運動競技・交通事故・自損行為・加害・その他）86人となっています。一般負傷と転院搬送数が減少し、交通事故による件数が増加しました。また道東ドクターヘリの運航状況については令和4年中の総出動件数は209件、当組合管内では出動は40件、ドクターヘリでの搬送は28人となっています。



▶救急出動件数及び搬送人員の推移

	4年救急出動件数 (3年救急出動件数)		4年搬送人員 (3年搬送人員)		4年ドクターヘリ出動件数 (3年出動件数) ※ドクターヘリが着陸し活動した件数		4年ドクターヘリ搬送人員 (3年搬送人員)	
	弟子屈町	合計	弟子屈町	合計	弟子屈町	合計	弟子屈町	合計
弟子屈町	465件 (454件)	合計 1,001件 (960件)	442人 (430人)	合計 947人 (904人)	18件 (15件)	合計 38件 (34件)	14人 (15人)	合計 28人 (33人)
標茶町	384件 (370件)		360人 (350人)		15件 (10件)		12人 (10人)	
鶴居村	152件 (136件)		145人 (124人)		5件 (9件)		2人 (8人)	

釧路北部消防事務組合職員数 令和5年1月1日現在

所 属	職員数	内救命士
消防本部	6	4
弟子屈	32	19
標茶	25	10
鶴居	16	10
合 計	79	43

令和4年度
救急救命士
国家試験
合格者紹介



氏 名
東 康太郎
拜 命
H25年4月1日
勤務先
鶴居消防署

令和4年度 全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

Topics

トピックス



道東地区消防職員意見発表会に出場



令和5年1月13日、釧路市において道東地区消防職員意見発表会が開催されました。釧路管内を代表し標茶消防署から下山竜祐副士長が出場し、惜しくも全道消防職員意見発表会出場とはなりませんでしたが奨励賞を受賞しました。発表の内容は「地域に根づく防災力」と題し、自分自身の体験談から減少傾向にある消防団員を高校生の若い力によって補えないかと提案し、災害時の情報収集をデジタル化するなど次世代の防災力向上案を発表しました。

.....

第3回鶴居村防火標語が決定！

鶴居消防署では令和2年度から開始した鶴居村防火標語を今年度も引き続き実施しました。防火標語の募集に対し、村民の皆様からたくさんの作品の応募があり、その中から上位5作品を選出しました。第3回の防火標語には一般の方から1名、幌呂中学校の生徒1名、下幌呂小学校の児童1名、鶴居小学校の児童2名の作品が選ばれました。最優秀作品に選ばれた佐藤梨乃さんの標語は看板やターポリン幕で村内3カ所に掲示しました。入選作品は火災予防広報イベントなどで活用していきます。

- 受賞作品は以下
- ・最優秀作品「慣れたころ 油断してると 火の危険」
 - ・優秀作品「火の始末 二度確認して 火災ゼロ」
 - ・佳作「おばあちゃん 仏壇ろうそく 消したかい？」
- 「火災ゼロ 燃えていいのは 心だけ」
「消したかな 確認してから 行ってきます」

- 下幌呂小学校6年生 佐藤 梨乃さん
- 鶴居小学校4年生 澁谷 瑛斗くん
- 鶴居市街 大澤 恵子さん
- 幌呂中学校3年生 齋藤 陸くん
- 鶴居小学校6年生 中野 にこさん



川湯開放日(弟子屈)

令和4年9月2日、川湯小学校にて「川湯小学校1日防災教室」が行われました。弟子屈町役場、消防、警察が参加し災害時にどのような役割や仕事を担っているかを学習するとともに、災害時の行動についても確認しました。当日は弟子屈町消防団女性部協力のもと消防車両からの放水体験、油圧救助器具による単管パイプの切断、梯子車の試乗体験などを行いました。又、最後には防災グッズのプレゼントを行い、児童たちはコロナ禍の影響で外部との接触を避け自粛続きの日々でしたが久しぶりの行事であったことから防災教室に笑顔で参加している姿が見られました。



.....

磯分内少年消防クラブオンライン研修会(標茶)



令和4年8月3日、標茶消防署にてオンライン研修会を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として初の試みとなったオンライン

研修会はカルビー北海道工場を見学させて頂きクイズ形式でお菓子の製造方法や製造から出荷までの一連の流れなど普段目にする事の出来ない貴重な見学となりました。磯分内少年消防クラブではその他にも、火災予防広報や歳末広報巡回を通じ、地域に根ざした防火活動に取り組んでいます。

キッズフェア(鶴居)

令和4年7月18日、鶴居消防署では3年ぶりに「第7回消防キッズフェア」を開催しました。新型コロナウイルスの流行に伴い3年間開催を見送ってききましたが、マスクの着用やアルコール消毒などの感染対策を徹底し、また例年より規模を縮小して開催しました。



当日は約180人の親子連れが来場し、新アトラクションのボルダリングコーナーや消火器体験、段ボール迷路やストラックアウトなどを通して子どもたちに楽しみながら消防や防災を身近に感じてもらうことができました。

「消防長査閲(標茶)」

令和4年6月27日、標茶消防署にて消防長査閲救急・救助訓練を実施しました。訓練は新たに導入したルーカス3(自動心臓マッサージシステム)、都市型ロープレスキュー資機材を使用した訓練展示を行い、資機材導入後の訓練成果を披露しました。



新たな資器材導入により、心肺停止傷病者搬送時の時間短縮や、少人数隊員での救助活動も期待されます。今後も、資器材取扱いの熟練度を向上させるため訓練を行っていきます。

「多言語サービス救急訓練(標茶)」

令和5年2月24日、標茶消防署にて多言語サービス救急訓練を実施しました。多言語通訳サービスとは、外国人の方からの119番通報や救急・災害現場でのコミュニケーションを電話での同時通訳するというものです。標茶町教育委員会から外国語指導助手(ALT)のご協力を得て、それぞれの想定において傷病者役を演じていただきました。外国の方に対する消防サービスの向上を図ることができ充実した訓練となりました。ご協力いただいた標茶町教育委員会、外国人指導助手のみなさま、ありがとうございました。



釧路管内消防事務組合 連絡協議会 救助訓練

令和4年7月1日、弟子屈消防庁舎にて当組合と釧路東部消防組合とで合同救助訓練を実施しました。3年ぶりに開かれる全道大会に向け実施。日頃の訓練の成果を存分に発揮し鍛え抜いた技術、息の合った連携を披露し合い素早い動きで要救助者を救出しました。



緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練

令和4年10月6～8日、巨大地震を想定した「緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練」が青森県で開催されました。釧路北部消防事務組合からは消火小隊として5名が参加し苦小牧市消防本部に北海道隊として集結後、被災地想定である青森市への部隊移動となりました。北海道大隊1日目の想定は夜間の土砂崩落による建物閉じ込め救助が付与され、雨天の中、実践さながらの訓練となりました。また2日目は別会場で倒壊建物救助が付与され、消火隊は救助隊の支援活動に入ることとなり、通信手段や他隊との連携活動について改めて確認することとなりました。今回の訓練では消防機関からは165隊591名がかけつけ、北海道からは26隊98名が参加しました。応援要請があった際には迅速な行動がとれるよう準備をするとともに、受援体制についても幅広い整備が必要と感じました。



釧路管内消防事務組合連絡協議会 宿営訓練

令和4年9月28日、釧路北部消防事務組合と釧路東部消防組合でつくる釧路管内消防事務組合連絡協議会は地震による津波や噴火など大規模災害を想定した合同宿営訓練を厚岸町宮園公園内で行いました。応援する側、受け入れる側のどちらの立場になっても円滑に活動できるように資機材の確認や調整を行い宿営拠点の設営を実施しました。両組合から合計16名が参加。今後も災害対応の訓練を積み重ね、対応力の向上を図りたいと思います。



緊急消防援助隊全国合同訓練



令和4年11月10～15日、南海トラフ地震等を想定した大規模災害に対応できるよう「緊急消防援助隊全国合同訓練」が静岡県で開催されました。釧路北部消防事務組合からは後方支援小隊として2名が参加し苦小牧市消防本部に北海道隊として集結後、被災地想定である静岡県掛川市に設定された宿営拠点で後方支援活動を行いました。今回の訓練では全国各地の消防機関から678隊2,776名が集結し実践さながらの大規模な訓練を行うことができました。課題を抽出し有事の際に活かせるよう準備を進めていきたいと思ひます。

弟子屈防災訓練

令和4年11月2日、釧路圏摩周観光文化センターにて「令和4年度 弟子屈町総合防災訓練」が実施されました。弟子屈消防署をはじめ各関係機関と合同で大地震、巨大津波を想定とした避難所の開設、避難者の受入れを円滑に行えるよう防災訓練を実施しました。訓練では防災関係機材や消防車両・資器材の展示、応急手当訓練、炊き出し、仮設住宅の設置等を行いました。釧路圏摩周観光文化センターは大規模な自然災害が発生した際に指定避難所の他、広域応援受援時の宿営場所として指定されています。防災訓練を通して地域住民の防災意識の高揚を図り、各関係機関との連携を再確認しました。



女性消防団員研修

令和4年11月27日、弟子屈町摩周観光文化センターで釧路管内女性消防団員研修会が開催されました。この研修会は北海道消防協会釧路地方支部主催で、女性消防団員の資質向上を目的に毎年行われており、釧路管内6消防団から女性消防



団員と来賓合わせて65名が参加しました。今年度は初めて行われた研修内容として、各女性消防団の活動事例発表を行いました。発表はスライドを使用して各団10分ほどの時間で行い、日頃の地域活動をアピールし、活動に対する課題や情報共有を行いました。今後の女性消防団活動の活性化に繋がることが期待されます。

鶴居ポンプ3配備

令和5年1月15日、鶴居消防団第3分団において納車式が行われ、配備から32年使用した消防車両を更新しました。あらゆる災害現場に対応できるよう1500Lの水をはじめ、小型動力ポンプや発電機、チェーンソーなどの装備品を積載しており、有事の際での活躍が期待されます。



令和4年度 定例表彰

消防人に栄えある受章

令和4年度の消防定例表彰が各関係機関から授与されました。この受章は永年、消防・防災活動に従事され、地域防災の発展と住民の生命・身体・財産の保全に尽くされた功績が高く評価されたものであります。今後、さらに消防職団員が地域の方と連携し防災活動に尽力されますよう期待します。

今年度の受章者は次のとおりです。(勤続章は20年以上 順不同、敬称略)

◎第38回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章〈1名〉



高田 和則氏

◎令和4年度春の叙勲 瑞宝単光章〈1名〉



市山 榮吉氏(中央)

◎令和4年度秋の叙勲 瑞宝単光章〈1名〉



高平 敏夫氏

◎消防庁長官表彰

永年勤続功労章〈4名〉

弟子屈町消防団	副分団長	中澤	高行
標茶消防団	部長	菊地	信行
鶴居消防団	部長	澁谷	守勝
標茶消防署	消防司令	高橋	勝

◎北海道知事表彰

勤続章30年〈4名〉

弟子屈町消防団	班長	矢澤	一弘
標茶消防団	団員	二色	勝博
鶴居消防団	副団長	成田	信
鶴居消防団	分団長	丹所	昌睦

勤続章20年〈3名〉

弟子屈町消防団	団員	深谷	和明
標茶消防団	団員	竹田	寛幸
鶴居消防署	消防司令	池邊	智史

◎日本消防協会長表彰

功績章〈1名〉

標茶消防団	副団長	三島木洋一
-------	-----	-------

精績章〈1名〉

標茶消防団	副団長	蛭名 嘉章
-------	-----	-------

勤続章〈4名〉

弟子屈町消防団	副分団長	星川	幸喜
標茶消防団	部長	村上	徳幸
標茶消防団	部長	鴻池	智子
鶴居消防署	消防司令	村上	勉

◎北海道消防協会長表彰

特別功績章〈6名〉

弟子屈町消防団	分団長	金川	礼光
弟子屈町消防団	副分団長	中澤	高行
弟子屈町消防団	団員	鴨志田	光栄
標茶消防団	班長	齊藤	良樹
標茶消防団	班長	山本	政弘
鶴居消防団	団員	及川	文雄

功績章〈8名〉

弟子屈町消防団	副分団長	佐野	克彦
弟子屈町消防団	部長	古屋	幸二

弟子屈町消防団	部長	成田	勤
標茶消防団	分団長	橋本	寛
標茶消防団	分団長	澁谷	弘一郎
鶴居消防団	副団長	成田	信
鶴居消防団	分団長	丹所	昌睦
標茶消防署	消防司令	高橋	勝

勤続章30年〈5名〉

弟子屈町消防団	副分団長	星川	幸喜
標茶消防団	部長	村上	徳幸
標茶消防団	部長	鴻池	智子
標茶消防団	団員	二色	勝博
消防本部	消防司令	高田	和久

勤続章20年〈9名〉

弟子屈町消防団	班長	今井	慎也
弟子屈町消防団	班長	山内	和良
弟子屈町消防団	班長	筒井	貴文
標茶消防団	班長	菊地	ひろし
鶴居消防団	部長	門間	孝巖
鶴居消防団	班長	植田	紘史
消防本部	消防司令補	守屋	公揮
弟子屈消防署	消防司令補	村岡	弘康
弟子屈消防署	消防司令補	佐藤	圭一

◎消防協会釧路地方支部長表彰

勤続章55年〈1名〉

弟子屈町消防団	団長	藤田	茂
---------	----	----	---

勤続章45年〈3名〉

弟子屈町消防団	分団長	吉清水	幸夫
標茶消防団	副団長	鈴木	勝己
鶴居消防団	班長	野田	二三男

勤続章35年〈7名〉

弟子屈町消防団	副分団長	佐野	克彦
弟子屈町消防団	部長	深井	直実
弟子屈町消防団	班長	熊谷	和則
弟子屈町消防団	班長	高橋	幸一
弟子屈町消防団	班長	村山	克久
標茶消防団	班長	佐藤	国芳
鶴居消防団	部長	吉田	剛

勤続章25年〈12名〉

弟子屈町消防団	部長	郷司	多美子
---------	----	----	-----

弟子屈町消防団	班長	平岡	美代子
弟子屈町消防団	班長	渡辺	浩彦
弟子屈町消防団	班長	大宮	正博
弟子屈町消防団	団員	小濱	威徳
標茶消防団	班長	遠藤	優一
標茶消防団	部長	鎌仲	貴之
標茶消防団	団員	池内	宗徳
標茶消防団	副分団長	菊地	映司
標茶消防団	部長	高橋	盛也
標茶消防団	団員	藤川	秀樹
鶴居消防団	部長	齊藤	和弘

◎釧路北部消防事務組合長表彰

勤続章50年〈1名〉

鶴居消防団	団長	松井	廣道
-------	----	----	----

勤続章40年〈7名〉

弟子屈町消防団	分団長	金川	礼光
弟子屈町消防団	副分団長	中澤	高行
弟子屈町消防団	団員	鴨志田	光栄
標茶消防団	班長	齊藤	良樹
標茶消防団	班長	山本	政弘
鶴居消防団	班長	菊地	仁
鶴居消防団	団員	及川	文雄

勤続章30年〈4名〉

弟子屈町消防団	副分団長	星川	幸喜
標茶消防団	部長	村上	徳幸
標茶消防団	部長	鴻池	智子
標茶消防団	団員	二色	勝博

勤続章20年〈6名〉

弟子屈町消防団	班長	今井	慎也
弟子屈町消防団	班長	山内	和良
弟子屈町消防団	班長	筒井	貴文
標茶消防団	班長	菊地	ひろし
鶴居消防団	部長	門間	孝巖
鶴居消防団	班長	植田	紘史

模範章皆勤10年〈2名〉

標茶消防団	副分団長	森田	利和
標茶消防団	班長	佐藤	徳市

模範章皆勤5年〈1名〉

標茶消防団	分団長	山崎	孝一
-------	-----	----	----



釧路北部消防事務組合

ホームページ <http://kushirohokubu.com/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/kushirohokubu/>
 ホームページのQRコードはコチラ▶

